

本園の目標 教育目標
物事をよく考え、創造力のある子どもに
感情豊かなのびのびとした子どもに
根気よく、何事もやり遂げる子どもに
親切でうるおいのある正直な子どもに
誰とでも仲良く思いやりのある子どもに

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1 挨拶をきちんとする
- 2 自分の持ち物を決められた場所に片付ける
- 3 体力をつける
- 4 英語に親しむ

目標に対し今年度実施した内容

- 1 朝の挨拶・帰りの挨拶の大切さを教え、先生が率先して挨拶をする。自ら挨拶できるよう指導する。
- 2 自分の持ち物の場所や、しまい方を覚えるように指導する。時間を意識して片づける。
- 3 園庭でリレーや縄跳び、鉄棒やのぼり棒の遊び方を教え、運動能力を向上させる。
- 4 英語の歌とジェスチャーを覚える。外国人講師と英語で挨拶をし、言葉を交わす。

評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価基準 | | A 十分効果があった | B 効果があった | C 少し効果があった | D 効果がなかった |
|----------------------|----|---|----------|------------|-----------|
| 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 | | | |
| 1挨拶をきちんとする | A | 日々挨拶をすることで定着し自ら挨拶ができるようになった。 顔を合わせれば子ども同士、先生へのあいさつが習慣づいている。 挨拶する子を見習って挨拶ができる子が増えてきた。 登園、降園時に子どもだけでなく保護者にもあいさつすることができた。 こちらから挨拶すると返してくれるが、自発的挨拶する子は少ない。 挨拶する大切さは伝えてきた、自ら挨拶する子が増えてほしい。 | | | |
| 2自分の持ち物を決められた場所に片づける | A | 帰る前に自分のロッカー確認するように指導。決められた場所に片付けるようになった。 荷物の始末整理等は、自分たちで声を掛け合いきれいにできていた。 整理する時間を作り、道具箱などキレイに片付けていた。 落とし物を子ども同士で渡しあうことで自分の者も整理できるようになった。 置くべき場所をその都度細かく伝え、だいぶできるようになった。 | | | |
| 3体力をつける | B | 暑さ寒さに負けずに元気よく外で伸び伸び遊んでいた。 日々の保育でも行事の練習でも積極的に身体を動かして体力がついた。 縄跳び、鉄棒なども進んで取り込めるようになった。 戸外で鬼ごっこや走ることが好きな子は行っていたが、室内遊びが好きな子も多い。 様々な行事を通して、楽しく体を動かす機会が多くあった。 腕力、握力が弱く、鉄棒やうんてい、登り棒ができない子がいた。 | | | |
| 4英語に親しむ | A | 楽しんで活動に参加し興味を持つ子が増えた。 毎週とても楽しんでいるようで、これをきっかけに英語に興味を持つ子が多くみられた。 簡単なあいさつなど照れながらも講師に声をかけるなど、活動に意欲的だった。 たのしく英語活動に取り組んでいた。覚えた単語を日常で使うなど意欲的であった。 家でABCの歌を口ずさんでいる。講師の先生もユーモアがあり子どもも楽しそうに接している。 身近なものを教えてもらい誇らしげに「英語でわかるよ」と教えてくれるようになった。 | | | |

幼稚園評価の具体的な目標の評価結果

目標を達成できた項目もあれば、課題が見つかった項目もあった。意欲的に取り組む子とそうでない子がおり、いかに全体として取り組む意識を高めていくかが今後の課題である。挨拶をきちんとできる子、片づけをする習慣が身につけているので今後も継続して取り組んでいきたい。

評価項目3 「体力をつける」については、夏場は熱中症対策として外遊びを制限して室内遊びを主としてきたが、外より室内遊びを好む子が増えた傾向があった。今後の取り組みとして、運動遊び、屋外で遊ぶ楽しさをより伝えていくように心がけたい。

英語については講師が積極的に声をかけるので園児も楽しそうに答えている姿が見られた。英語の歌を好きになり、興味を持つ園児が増えたのは良かった。今後はレッスン以外の自由遊びの時間でも講師と積極的に遊ぶ園児が増えてほしい。

今後取り組む課題

1 挨拶をする

挨拶は、相手とのコミュニケーションのきっかけになり、人間関係を円滑にする大切なマナーです。「朝の挨拶」だけでなく「ありがとう」などの挨拶をしましょう。挨拶を交わすとお互いの心が開き、人間関係もスムーズになり自分の意見も言いやすくなる。

2 体力づくり

広い園庭を生かし、鬼ごっこやリレーを楽しみ、運動の基礎能力を養う。固定遊具で遊び楽しみながら運動能力を高め、持久力を養い体力をつける。専門の講師に指導を受け、様々な運動ができ、技能を高める。

3 英語を楽しみながら学ぶ

英語を聞く力を身につける。体を動かす遊びやダンスを通じて英語に親しむ。外国人講師と一緒に外遊びも行い、遊びの中で学ぶ。

以上の事柄を来年度の評価項目とする。

学校関係者の評価

挨拶をしたり、持ち物を片づけたり、生活の基礎となることをきちんとし指導されている。

ひとりひとりの個性に合わせて向き合ってくれた。友達への関わり方を園で教わり、まわりの子への気配りもできるようになった。園生活の良さを感じる。

子ども達の体力面での成長を実感した。縄跳びを目標を持ってやるようになった。園庭で遊べない日が多かった。もっと園庭で過ごせる時間を多くしてほしい。

英語講師と一緒に楽しそうに学ぶ姿が見られたのはよかった。英語に興味を持つきっかけになっている。英語が身につくように今後も継続して取り組んでほしい。

学校関係者評価実施日 令和6年3月15日